

「郷土研所蔵の古文書の目録公開と研究」事業の進捗状況について

山田邦明・神谷智（事業責任者）

愛知大学総合郷土研究所（郷土研）には、長年にわたって収集されてきた歴史的古文書が多数所蔵されている。仮目録をもとにして古文書の点数を数えると合計で5万点を超える。収集された古文書の多くについては仮目録がすでに作成されているが、これはあくまでも「仮目録」であり、体裁も統一されておらず、内容の検討も必要となる。またこの仮目録は研究所に配架して閲覧には供しているが、広く一般に見られるものとはなっていない。

こうした状況を克服するため、形式や内容がきちんと整備された目録を作成し公開する事業を2016年度から開始した。従来の仮目録の内容を点検して整備された「目録」を作成し、冊子目録として刊行するとともに、目録のデータベースをホームページ上で公開するというのが具体的な作業である。また、目録作成の作業や作成された目録をもとにして、古文書にかかわる研究を進めることも目的としている。

2016年度から2018年度までの「郷土研所蔵の古文書の目録公開と研究」の事業は、かつての三河国渥美郡に属する地域（現在の田原市と、豊橋市の朝倉川以南）に関係する分について、目録データベースを作成して、冊子体の目録を刊行し、データベースをホームページ上で公開することを目的としている。冊子目録は2冊で、2017年度に1冊目を刊行し、あわせてデータベースをホームページ上で公開するためのシステムを構築して、1冊目の目録に対応するデータベースの公開を実現させた。2018年度（本年度）は2冊目の目録に収録すべきデータベースを点検のうえ完

成させて、2019年3月末までに2冊目の冊子目録を刊行する予定である。2冊目の目録に収録した文書群（かつての所蔵者ごとの文書のまとまり）は表1の通りである。目録作成の作業はおもに田中博久（中部大学大学院博士課程前期修了）が担当した。また3年間の事業のまとめとして、2019年3月23日（土）に公開講演会を開き、成果の一端を公表する予定である。

「郷土研所蔵の古文書の目録公開と研究2」の事業は、2018年度から2020年度までの3ヶ年計画で、総合郷土研究所に所蔵されている歴史的古文書のうち、2016年度から2018年度までの事業で作成された旧三河国渥美郡の分を除く、そのほかの三河地域にかかわる文書約8,100点を対象に、文書の再点検と目録データベースの作成を行うものである。2018年度（本年度）においては、このうち約半数にあたる、東三河地域にかかわる約4,000点の古文書の内容を点検して、目録データベースの作成を進め、冊子目録を刊行しホームページ上で公開するための準備をしている。なお実際の冊子目録刊行は2019年度となる。対象となる文書群は表2の通りである。この目録点検作業はおもに田中博久が担当して行っている。

また目録の体裁や記載内容などについて決める必要があるため、ほぼ月に一度のペースで、関係するメンバーの会議を開き協議を重ねている。この会議には研究プロジェクトメンバーのほか、田中博久と、松坂家文書・石井家文書など別の目録作成作業を行っている荒木亮子・滝井友子に参加して、話し合いをしている。

表 1

三河国吉田藩士福岡家文書
三河国渥美郡吉田宿質仲間文書
三河国渥美郡吉田船町鶴野家文書
愛知県豊橋市瓦町西町内会文書
大河内家系譜略記
羽田野敬雄手蹟集
豊橋聯隊区将校団資料
豊橋聯隊区関係文書
豊橋市戦時文書
渥美線電車時刻表
三河国渥美郡関係文書
愛知県渥美郡関係文書
三河国渥美郡大崎村河合家文書

表 2

三河国宝飯郡大木村島田家文書
三河国宝飯郡西原村小山家文書
三河国宝飯郡国府村平松家文書
三河国宝飯郡牛久保村宗門改帳
三河国宝飯郡関係文書
愛知県宝飯郡長沢村戸長役場文書
愛知県宝飯郡牛久保町田中家文書
愛知県宝飯郡前芝村鈴木家文書
愛知県宝飯郡御津町三浦家文書
愛知県宝飯郡下地町文書
愛知県宝飯郡麻生田村文書
愛知県水産試験場文書
愛知県宝飯郡大木村文書
愛知県宝飯郡塩津村役場文書
愛知県宝飯郡御馬村川野家文書
愛知県宝飯郡下地町農会史料
愛知県宝飯郡有権者名簿
御油警察署巡査巡回記録
宝飯郡史
三河国設楽郡千郷村文書
三河国設楽郡西薊目村文書
三河国設楽郡大洞村泉龍院文書
愛知県設楽郡稲橋村野入地区文書
三河国設楽郡西田内村文書
三河国設楽郡関係文書
愛知県北設楽郡富山村租税収納簿
愛知県南設楽郡新城町文書